

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年12月26日時点)

➤ **ウクライナ軍**は、東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)での攻勢が停滞する中、ヘルソン正面やクリミア半島方面への攻撃を継続する一方、**露軍**は、東部で攻勢を強めるとともに、各地への攻撃を継続している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)

: 死者約15万人 (「ウ」軍総司令官11月1日)

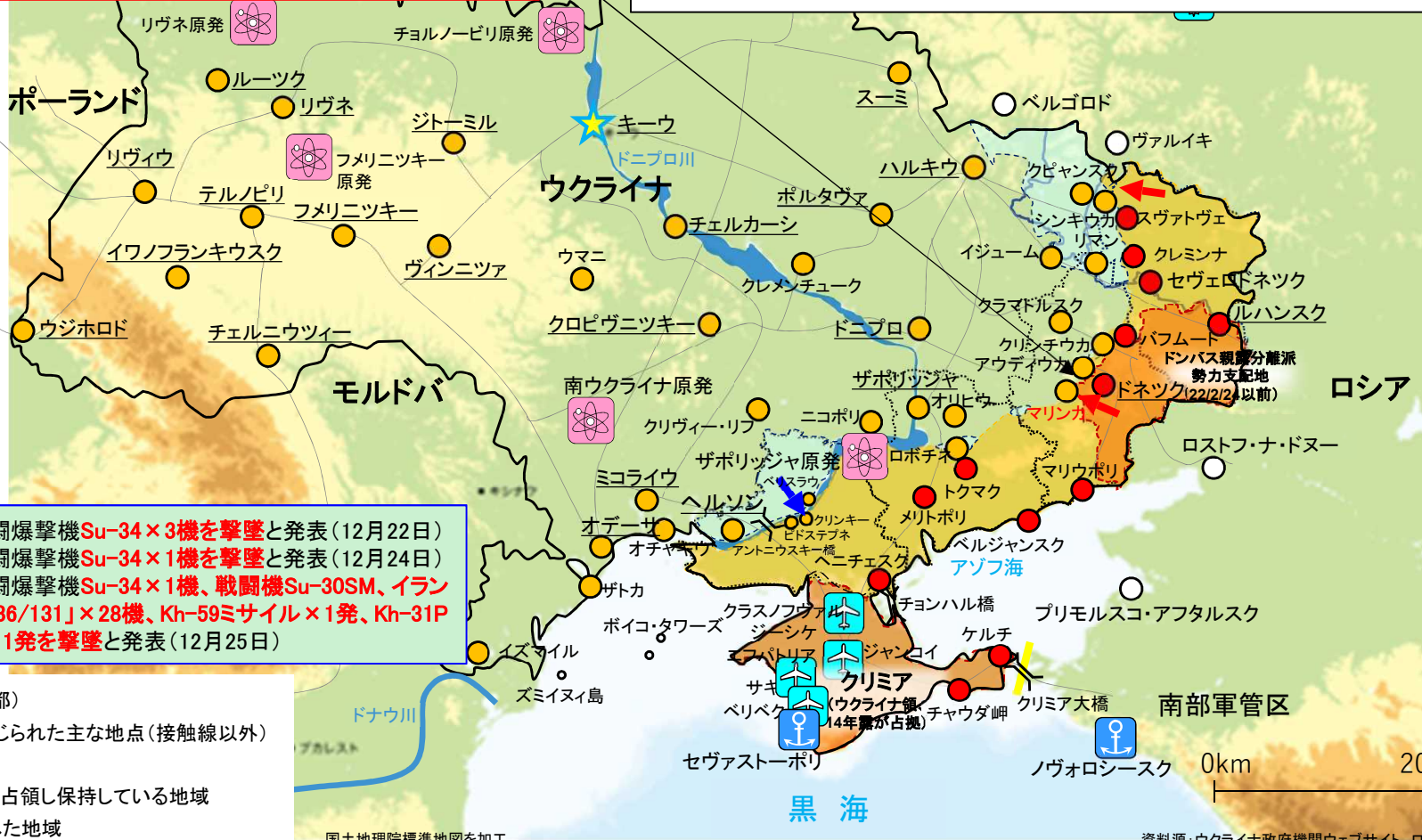
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN12月4日)

・ ショイグ露国防相は、プーチン大統領に対し、ドネツク州マリウポリを完全に制圧したと報告。一方、「ウ」軍報道官は、「ウ」軍が引き続きマリウポリに留まっていると主張(12月25日)

- ・ ゼレンスキー大統領は、「ウ」軍から45-50万人規模の追加動員の提案があった旨公表した上で、追加動員には5,000億フリヴナ(約135億ドル)の追加予算が必要になるとし、今後、軍と政府が議論して議会に提示するかを決定すると発言(12月19日)
- ・ 「ウ」空軍報道官は、露軍が2022年2月の全面侵攻開始以降、「ウ」に対して合計7,400発のミサイルを発射し、このうち「ウ」軍は1,600発を迎撃したと発表。また、露軍が投入したイラン製無人機「シャヘド」については、これまでに3,700機飛来し、うち2,900機を迎撃したと発表(12月21日)
- ・ 露軍参謀総長は、外国軍士官団向けのブリーフィングにおいて、6月4日に始まった「ウ」軍の反転攻勢が不成功に終わったとし、半年間で「ウ」軍が人員16万人、戦車766両等を損失したと指摘(12月21日)
- ・ 蘭首相は、「F-16」戦闘機×18機を第一陣として「ウ」に引き渡す準備を開始したと発表(12月22日)
- ・ 「ウ」議会は、徴兵対象年齢の下限を27歳から25歳に引き下げる法案をウェブサイトに掲載(12月25日)



- ・ 「ウ」空軍は、露軍戦闘爆撃機Su-34×3機を撃墜と発表(12月22日)
- ・ 「ウ」空軍は、露軍戦闘爆撃機Su-34×1機を撃墜と発表(12月24日)
- ・ 「ウ」空軍は、露軍戦闘爆撃機Su-34×1機、戦闘機Su-30SM、イラン製無人機「シャヘド-136/131」×28機、Kh-59ミサイル×1発、Kh-31P対レーダーミサイル×1発を撃墜と発表(12月25日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等